

# ディズニープリンセスは 子どもを洗脳するのか

『黒人差別とアメリカ公民権運動  
～名もなき人々の戦いの記録～』





# テーマ設定理由

- ◆ Disney +
- ◆ 子どもの影響の受けやすさ
- ◆ 性別役割分業
- ◆ 結婚観

# 第1章 乳児期の経験とマス・メディア

- 3歳までに脳の発達ほぼ完了
- ジェンダー・ステレオタイプ化

されていないCM



されたCM

リーダーを志願する**女子生徒**が減少

# 第1章 アメリカにおける女性差別の歴史

～1945

**性別役割分業**という価値観が流布  
女性の就職率15%

1950'～1970'

雇用差別が禁止  
女性の就職率50%

1980'～

社会進出が進む  
女性の就職率60%

# 第2章 ディズニープリンセスの変遷

第1期：働き者で**受動的**な白人プリンセス

幸せ = 結婚

第2期：**自由**を望む**行動的**なプリンセス

第3期：**恋愛以外**の要素がメインテーマ

幸せ ≠ 結婚すること

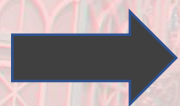
# 第3章 子どものジェンダー観

## ①性別役割分業

反対 : (第1期) 31.7% → (第3期) **66.1%**

出典:「世界 青年意識調査」 (<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/worldyouth8/html/mokuji.html#02-7>)、2023年1月8日

プリンセスとの関わり **大**



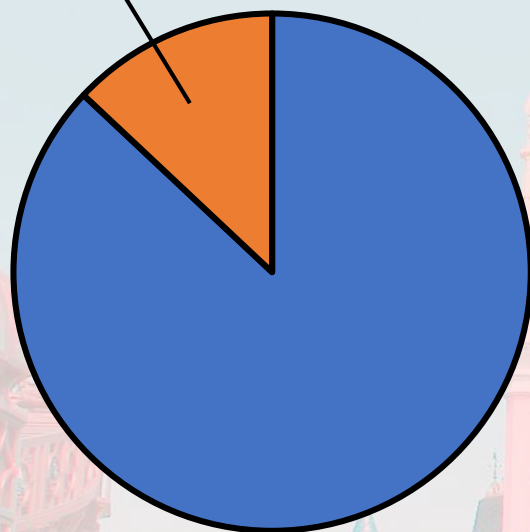
第1期：性別による決めつけ

第3期：女性に対する平等主義的な考え

## ②結婚観

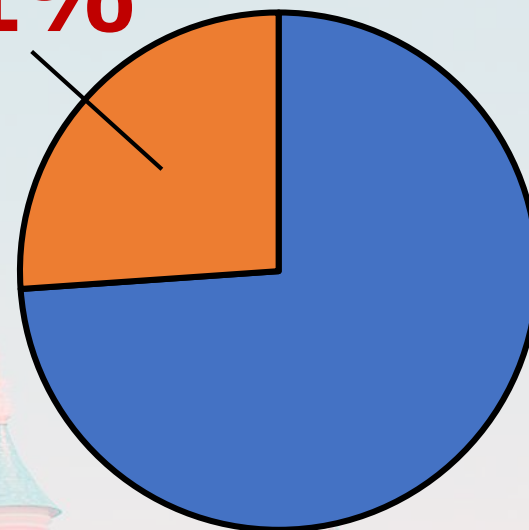
結婚しなくても良い

13.0%



(第1期)

26.1%



(第3期)

出典: 「世界青年意識調査」 (<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/worldyouth8/html/mokuji.html#02-7>) 2023年1月8日

# 結論

## ◆ プリンセス像

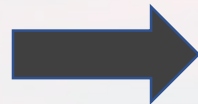
家庭的で受動的な女性



**自由**で**行動的**な自立した女性

## ◆ 子どものジェンダー観

男性優位な考え方  
性別による決めつけ



結婚が**全てではない**  
性別役割分業を**否定**

※ 私たちは、このコンテンツを削除するのではなく、  
**有害となるその影響を認め...**



# 参考文献一覧

- 山口真美 『赤ちゃんは世界をどう見ているのか』（平凡社、2006年）
- 若桑みどり 『お姫様とジェンダー – アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』（筑摩書房、2003年）
- 有賀夏紀 『アメリカ・フェミニズムの社会史』（勁草出版、1988年）
- 蓮見博昭 『アメリカに女性大統領は誕生するのか』（日本評論社、2015年）
- 高橋雅延、巖島行雄 監修 『無意識と記憶』（岩波書店、2020年）
- 福富護 『ジェンダー心理学』（朝倉書店、2006年）
- 荻上チキ 『ディズニープリンセスと幸せの法則』（星海社、2014年）
- 「ディズニー映画にみる人種差別・女性差別」（[https://www.f.waseda.jp/k\\_okabe/semi-theses/1505natsumi\\_toki.pdf](https://www.f.waseda.jp/k_okabe/semi-theses/1505natsumi_toki.pdf)） 、閲覧:1月8日
- 「ディズニープリンセスと多様性」  
（[https://lab.kuas.ac.jp/~jinbunqakkai/pdf/2017/i2017\\_01.pdf](https://lab.kuas.ac.jp/~jinbunqakkai/pdf/2017/i2017_01.pdf)） 、閲覧:1月8日
- 「第8回世界青年意識調査」  
（<https://www8.cao.qo.jp/youth/kenkyu/worldyouth8/html/mokuji.html#02-7>） 、閲覧1月8日